

# 「堂々川；人も自然も生きている II」



2022 (令和 4) 年 8 月 26 日 堂々川ホテル同好会情報誌 2022 年度第 4 号 (創刊 210 号)

1. お盆が過ぎて朝方まとまった豪雨が降る。10 分雨量が 10 mm の日もあった。そんな 8 月 21 日雨が降っていたが強引に定例会を開催した。予報はずばり当たりほとんど雨に濡れることはなかった。瞬時に連絡可能なので堂々川ホテル同好会の通信網にラインを採用することになった。ただ会は後期高齢者の集団、ラインが使えない人が多く、普及させるために会員の早川さんにサポートを依頼したので活用して欲しい。
2. 草に負けている砂留整備は福山城 400 年記念行事に参加しているので重点作業として対応をしている。ただ 1 番砂留は 3 ヲ所蜂の巣があり今回は途中止め。
3. 8 月 8 日福山市情報発信課殿からの話して RCC 殿が取材に来られ 9 月 11 日 11 時 20 分頃から放映される。砂田副会長が初主演で堂々川を紹介される。
4. 彼岸花科ナツヅイセン (リコリススクアミケラ) が 7 月に続いて 8 月お盆過ぎから 2 回目の花穂を持ち上げ咲きだした。ピンク色の綺麗な花だ。
5. 猪対策は本気になって貰える会員のおかげで電気柵の設置が進んでいる
6. 目で見ると事例



8 月定例会参加者



雨量 29 mm の雨開催を悩む



1 番砂留の整備



ここ 1 か月ごみの投棄が多い



6 番砂留下方の草刈り



4 番砂留周辺草刈り



草刈り 4 番砂留



彼岸花開花場所斜面



1 番砂留東の広場

## 7. 次回定例会

9 月 11 日 (日曜日) 集合場所 1 番砂留 8 : 00 ~ 10 : 30

作業内容 : 彼岸花植栽地の草刈り 砂留整備 ごみ拾い 外来草駆除

8. 発行責任者 堂々川ホテル同好会 会長 中山晋一

「この活動は一般財団法人セブン - イレブン記念財団の助成を受けて実施しています。」

# 会の活動名「ホタルと花と砂留と」

私たちの活動テーマは首記ですがこの活動に基づく成果は既に何回もお知らせしています。昨年一年間来訪者数は1万人弱の方が来られたようです。眼には見えない活動も数多くあります。例えば環境について珍しい生き物の保護活動、環境学習の実行も小学生と共に水質調査や福山大学・福山市立大学の学生さんの卒論等のお手伝い、準絶滅危惧種ではアカハライモリ、ダルマガエル、カヤネズミや植物では鏡蓋（ガガブタ）絶滅危惧Ⅱ類のセトウチサンショウオ等の保護もしています。

又環境を守る活動も本気でしていますが違反する人の多さには我慢がなりません。しかしよく考えれば我々が拾わなければそれで済むことで怒る必要はないはずだと最近是这样思うことが多くなりました。ごみ拾いを始めた2006年からもう16年、いつまでこの活動を続ければ自浄の川になるのでしょうか？

## ★ 以下は最近の悪い事例です。



捨てられた家庭ごみをカラスが突く



ごみの中から証拠の名前が！



ネコに餌やりをする夫婦？



ネコに餌やり 鳶が迫 数分前？



迫山橋下流の投棄？



同じ場所 左記とは別の日

## ☆ 守りたい生き物 準絶滅危惧種



堂々川川原  
カヤネズミの巣

## 絶滅危惧Ⅱ類



御領山・中条山  
セトウチサンショウオの卵

## 準絶滅危惧種植物



御領山溜池  
鏡蓋（ガガブタ）の花